

吉岐新報

10月26日(金)

発行所 (株)吉岐新報社
〒811-5136 長崎県吉岐市
郷ノ浦町片原247-7
TEL/FAX 0920-47-3196
ikishinpou@oboe.ocn.ne.jp
HP ikishinpou.com
発行 毎週金曜日
購読料 1ヶ月1,000円(税別送料別)
発行人 大野英治
編集長 武田嘉人



ホームページ iki-islandpress.jp

秋晴れの下、5競技で熱戦 約550人の市民が出場

第60回市民体育大会・秋季大会



選手宣誓する陸上、坂口君

会は郡民体育大会から教えて夏季大会と同様に60回目の節目の大会となった。この秋季大会は▽陸上、大谷グラウンド▽剣道、大谷体育館▽空手道、同▽柔道、吉岐高校柔道場▽ゲートボール、大谷ゲートボール場の5競技に、旧4町の代表選手ら約550人が出場して行われ、開会式では松永会長が「オリンピックも大きな感動を多くの人々に与えて終わったが、メダリストたちがメダルを取るまでのプロセスは、スポーツを愛する選手にはよくわかるはず。けがなどせぬよう十分に注意して、今日この時の

健闘を祈る」と挨拶。続いて来賓の代表として、白川博一市長が「60回目の市民体育大会が、多数の参加者により盛況されたのは、市体育協会が長きにわたり吉岐のスポーツのけん引役を果たしてきたため。本市でも自転車競技大会、成年女子ソフトボールの2競技が行われる、2014年の長崎がんばらん場国体成功に向けてのサポートをお願いしたい」。山本啓介県議が「皆さん一人一人のプレー、感動が、吉岐での国体の機運を高めると思う。健闘を祈る」と祝辞を述べた。

この後、陸上競技に出場する吉岐高校1年、坂口純君の力強い宣誓。写真、本市のバスケットボール協会・西村宏章会長、空手道連盟・瀬口卓也理事長の2人に体育功労賞が贈られた後、5競技の各会場で熱戦が展開された。

市主催の本年度「森林の集い」が11月3日午後1時から4時まで、石田町、筒城ふれあい広場で開かれる。森林の集いは、森林の重要性についての認識を深め、緑化思想の普及と意識高揚を図り、緑豊かな活力ある美しい郷土づくりを、緑化推進運動の一環として、郷ノ浦・勝本・芦辺・筒城の4町の少年団、市内各小学校が参加して開かれる。



スポーツの秋―市体育協会(松永裕一会長)が主催する本市最大のスポーツイベント、市民体育大会・秋季大会が21日、郷ノ浦町大谷グラウンドをメイン会場に開かれ、秋晴れの下、選手全員がベストを尽くしたプレーを見せた。

健康で活力に満ちた市民の育成を目指すし、地域スポーツの振興と競技力の向上を図り、相互の親睦により健全な社

リニューアルオープン!

11月1日、国民宿舎・吉岐島荘

改装工事のため昨年8月から休業中の勝本町立石西国民宿舎「吉岐島荘」は本年11月1日午後1時、リニューアルオープンすることになった。

利用料金は、基本宿泊料金は1泊2食付で大人1人7710円(平日)から、この他にもさまざまな宿泊プランが用意されている。また休憩料金(1人、税別)は▽一般休憩(立ち寄り湯)▽大人(中学生以上)4000円▽児童3000円▽大広間▽大人5500円▽小学生4000円▽個室▽大人10000円▽小学生6000円▽幼児はいずれの場合も無料となっている。

利用時間は▽広間、個室の休憩・原則として午前10時から午後4時まで▽ロビー休憩・同午前9時から午後8時



夕暮れになれば夕陽が美しい浴場

先週末の夕陽はとても美しかった。その頃の日の没の時刻は、本紙の潮どきをみると午後5時41分、42分となっており、毎日1分ずつ早まっている。ちなみに日の出はというと午前6時半、31分と逆に1分刻みで遅くなっていて、その1分間が妙に面白い。日が短くなったと実感することになるが、朝早く温泉に行っていた頃があった。朝の香りと大気を、深く深く深呼吸して胸をいっぱいにして、吸い入っているリラックステキな音楽が、NHKのFMを聴きながら、朝陽で美しく輝く雲、また薄紫の空に行く筋も伸びる光の帯、丘陵から日が昇り穏やかな海に映る朝陽。幾何学模様のような蜘蛛の巣にとらわれた夜露にもたると朝陽、その輝き一滴が雫となってキラキラと落ちた。そして、詩人にもなつたつもりで感傷に浸りながら温泉への道を行く。温泉では、好きな俳人、種田山頭火の句「どうしようもない私が歩いている」「すべってころんで山がひっそり」「寝たいだけ寝たから湯に伸ばす」「ひとりきりの湯で思ふこともない」「あふるる朝湯のしづけに浸る」などと、様々な島の息吹を感じながら、心からリラックスした時を過ごし、自分と対話するように湯につかっていた。まるで小さな旅に出ているような気がして、とても気になっていたので、今もはつきりと思い出される。また出かけたくなる。

市視覚障害者懇談会

11月11日、県視覚障害者協会

(社)県視覚障害者協会主催の「吉岐市視覚障害者懇談会」が11月11日午前10時から午後5時まで、郷ノ浦町、文化ホール201会議室で開かれる。

今回の懇談会は、見えにくい・見えにくいために情報入手や読み書きが困難な人たちが、日常生活の中で抱えている諸問題について共に考え、より広範な社会参加が可能となることを目指しており、参加者の自己紹介、個別相談、各種視覚障害者用機器の展示や操作説明も行われる。

また当日は午後1時から午後5時まで、併せて視覚障害者IT講習(初心者、経験者2コース)もある。申し込み(2日締切り)や問い合わせなどは同協会(〒855-2181 長崎県橋口町10-22、電話0951-846-9021)へ。

11月は「労働保険適用促進強化期間」

1人でも雇ったら、入ろう。

労働保険

労働者(アルバイト含む)を一人でも雇っている事業主は、労働保険(労災保険・雇用保険)に加入する義務があります。まだ加入手続きがお済みでない事業主の方は、至急手続きをお取り下さい。

対馬労働基準監督署吉岐駐在事務所 0920-47-0467
対馬公共職業安定所吉岐出張所(ハローワーク吉岐) 0920-47-0054

第56回 吉岐市美術展覧会実施要項

(1) 名称 第56回吉岐市美術展覧会(略称 市展)
(2) 主催 吉岐市美術協会
(3) 後援 長崎県・長崎県文化団体協議会・吉岐市・吉岐市教育委員会・吉岐文化協会
(4) 協賛 吉岐日々新聞社・吉岐新報社・吉岐新聞社・長崎新聞社・山本文房堂・新栄写真場・赤木写真館・長田写真館・スエナカ写真館・あつむらざ(サイクサ写真館)

(5) 会期 平成24年11月16日(金)～18日(日)
(6) 会場 吉岐文化ホール 吉岐市郷ノ浦町本村445 TEL 47-4111

(7) 出展規定(一般公募)
① 出展資格 吉岐市内居住者及び出身者(但し、中学生以下を除く)
② 出展作品の部門及び規格
◆ 絵画の部(洋画・日本画・版画など)
○ 必ず額縁心もつけること。
◆ 彫塑・工芸の部
○ 彫塑(木彫・石彫・石膏像など)
○ 大きさ、重量に制限はないが危険でないもの。
○ 工芸・デザイン(窯芸・木工・金工・染色・ポスターなど)
○ 立体に制限はないが、ポスターなどは半切以上平面デザイン四切以上。額装・又は台紙をつける。
◆ 書の部(条幅・扁額) 額装・表装。○ 作品の語句、読み等を楷書で書いて作品の下に貼付する。○ 仕上寸法 90cm×240cm以内、縦横自由。
◆ 写真の部(モノクロ・カラー) ○ 四つ切以上の大きさで、枠張り、額装とする。○ 組写真は1点とみなす。(4枚以内の作品)

③ 出展作品の制限
○ 最近作で未発表のものとし、盗作などは発表後でも取り消す。○ 中央展、団体展などの作品は参考出品とする。
④ 出品手数料 ○ 出品応募は1部門につき1人1点1000円、2点以上1500円、学生は500円を申し込みと同時に納入のこと。○ 出品点数は1部門1人3点までとする。○ 出品料の払い戻しはしない。
⑤ 出品申し込みと搬入、受付
日時 平成24年11月13日(火)午後1時～5時
場所 吉岐文化ホール1階(102室)
※搬入受理のとき出品証及び手数料受領証を渡す。
⑥ 作品の展示及び搬出
○ 出品作品を展示し、入賞者は会場及び新聞紙上で発表する。
○ 展示については委員が行い、出品者の異議申し立ては認めない。
○ 作品は11月18日(日)午後4時より会場でお返しする。当日は5時以後は会として撤去の責任はもてません。
○ 作品の搬出入に要する経費は全て出品者負担とする。
○ 不可抗力による作品の汚損、亡失等の責任は負わない。
⑧ 審査 平成24年11月15日(木)午前9時より展示及び審査会長が委嘱した審査員によって厳正な審査を行う。(各部門の審査員は公表する。)
⑨ 発表 入賞者の発表は個人連絡と新聞紙上発表。入賞者の発表は展示にかえる。
⑩ 表彰 ○ 入選作品中各部門に優秀作に次の賞を授与する。山口幹雄賞(特別賞)・県知事賞・市長賞・市教育委員会賞・各新聞社賞・文化協会賞・美術協会賞

授与式 11月18日(日)午後3時 展示場にて

11月15日(木)展示(9時)後、総会、会員の皆様は御出席の上、御協力をお願いします。

吉岐市美術協会事務局(市展事務局)
TEL・FAX 0920-43-0428
TEL 0920-43-0428 吉岐市勝本町百合畑400-1 品川哲範